

第2日 1月30日(土) 2部

13 学校安全部会	部会テーマ		災害時に主体的に行動できる子どもの育成を目指して		
内 容	様々な災害の教訓を踏まえ、生活安全、交通安全、災害安全を含めた防災教育を強化する観点から、学校が取り組むべき安全に関する教育の充実や、地域社会、家庭との連携を図った学校安全の取組が重要である。そこで、県内の学校における実践発表を通して、学校が取り組むべき具体的な方策と災害時に主体的に行動できる子どもの育成について考える。				
企画・会場係	総合教育センター	山田 裕功	記 録 係	総合教育センター	細井三知代
受 付 係	総合教育センター	佐藤裕美子	機 器 係	総合教育センター	糺谷 隆雄
機 器 係	総合教育センター	澁谷 景子			

実践発表①

災害の危険をイメージし、自ら安全に行動できる児童生徒の育成を目指して

～「令和2(2020)年度学校安全総合支援事業」の取組～

県教委事務局学校安全課 藤田 薫
 県立南那須特別支援学校 戸村友美枝
 〃 船木 佳子

今年度、栃木県では県北部の南那須地区をモデル地域として、「障害種に応じた実践的な防災教育」をテーマに、自ら命を守り抜くための「主体的に行動する態度」の育成について取り組んでいる。その拠点校である南那須特別支援学校における取組と成果等について発表する。

実践発表②

教育課程特例校「NAiSUタイム」の実践を通して

～防災は「人づくり」～

那須町立那須中央中学校 戸村 一郎
 〃 木澤 和昌

那須町独自の教育課程編成「NAiSUタイム」が令和元年度からスタートした。この教科は「人間関係プログラム」、「防災教育」、「プログラミング教育」の三つで構成されており、年間授業時間は25時間となっている。その中から、「防災教育」の7時間の実践について発表する。